

つきたい力

- ①論理的に考える力
- ②語彙力
- ③相手の意識した表現力

取組みの概要・ポイント

- ・教科の目的を達成するための言語活動を意識した授業づくりに取り組む。
- ・語彙を増やすための取組みを学校生活全体の中で進める。
- ・学校図書館を「読解力の育成」と「課題解決できる場所」として位置づけ、読書活動を推進する。

学校ホームページ



取組み報告動画



具体的な取組みの内容

読書教育の推進

本に出会うための環境設定



リクエスト本の
新刊コーナー

テーマごとの本

新聞コーナー

児童部会



新刊紹介

紙芝居の
読み聞かせ

図書館
オリエンテーション

読みたい本を
すぐに探し出
せるように、
学校図書館
の地図を作成



市民図書館、保護者、地域との連携



味見読書

絵の本広場

お話し会

言語能力を育むための取組み

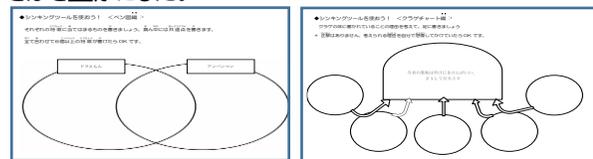
ことばの力を育むための取組み



〈低学年〉

言葉で気持ちを表すことががてな児童の、心の中に湧き起こった感情にラベリングをし、その気持ちを言語化することに取り組んだ。大人教の「いまだんなきもち？」や国語の教科書の巻末にある「ことばの宝箱」を使っているような場面で学習している。

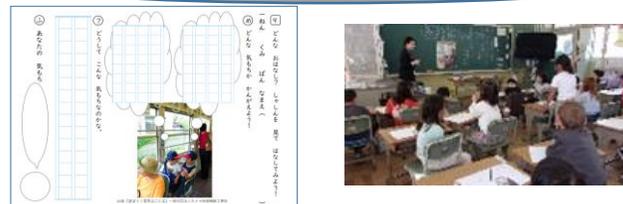
また、クラスのためになることをする「エンジェルをさがせ」という取組みは、伝えたいという気持ちを育み、児童のことばを豊かにした。



〈高学年〉

シンキングツールを使って、考えを整理したり、深めたりする学習に取り組んでいる。また、ジグソー学習の方法で、相手意識や目的意識を持った話し合い活動を行った。

授業実践



1年：国語科「どんなお話？～写真をよく見て話してみよう～」
話したくなる・聞きたくなる意欲が高まり、楽しんで語彙を豊かにできるように、写真を用いた言語活動を設定した。

身の回りの様子や自分の気持ち、出来事などの捉え方の感覚を磨き、子どもたちの日常でも活かされるよう、子どもたちと写真を見る視点を共有した。

4年：図画工作科「お話をつくろう」

4枚のアートカードを選び、物語をつかった。物語の内容について交流したり、ちがった見方を発見したりする活動を通して、感じ方を広げるとともに、それを言葉で表現する力を身につけることを目標とした。

自分の感じたことを進んで話したり、友人の思いを聞いたりして、お互いを認め合い、共通点だけでなく異なったとらえ方や感じ方を大切にした。



取組みを通しての子どもの変容

- 言語活動を、教科の中や学級活動、学校行事など様々な場面で意識して設定することにより、相手意識、目的意識をもって伝えようとする児童が 増加した。
- 主体的に読む本を選んだり、調べたりする児童が増加した。

令和7年度 児童アンケート項目 (%)	R7 3月	7月	12月
以前より読書への興味が深まった。	80	86	88
自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して、伝え方を工夫している。	75	82	82
話のつながりを意識し、大事なことを考えて、読んだり聞いたりしている。	70	70	77